

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

食用として養殖されていた個体が逸脱、遺棄されたりして広がりました。鹿児島県では重要防除種、環境省では特定外来生物に指定され、県本土各地、奄美大島、与路島、徳之島、沖永良部島で確認されています。両生類、昆虫類、甲殻類などの捕食が確認されています。ウシガエルの幼生や卵を見かけた場合は、可能であれば除去して下さい。また、未定着の島嶼で見かけたり、声を聞いたりした場合は、県自然保護課か市町村にご連絡下さい。

1 基本情報

分類

目・科名	無尾目 アカガエル科	
種名(亜種名)	ウシガエル	
学名	<i>Lithobates catesbeianus</i>	
環境省カテゴリー	特定外来生物 重点対策外来種	
県カテゴリー	重要防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(島嶼)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100 日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	北米	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	食用として輸入し、養殖されていた個体の逸出、遺棄	
県内の侵入分布	県本土各地、奄美大島、与路島、徳之島、沖永良部島	
全国の侵入分布	北海道南部、本州以南の日本列島のほぼ全域と周辺島嶼(佐渡島、壱岐、五島列島など)、奄美諸島(奄美大島、与路島、徳之島、沖永良部島)、沖縄諸島(伊平屋島、伊是名島、伊江島、沖縄島、久米島)八重山諸島(小浜島、西表島)	
生態学的特性		
生態	食性は肉食で、口に入る大きさであればほとんどの動物を捕食する。 夜行性。昼間は水草の中や水場周辺の茂みや窪地に隠れる。	
形態	体長111～183mm。体重139～183g。 大型でみずかきが良く発達する。眼の後ろの鼓膜が大きく、よく目立つ。	
繁殖形態	池、沼などでオスは繁殖なわばりを持ち、水面に浮きながら「ウオー、ウオー」と鳴く。産卵は水草の多い所でなされ、産出された卵塊はシート状になって浮かぶ。オタマジャクシは越冬し、15cmほどに達する。繁殖期は5～9月上旬。	
生息環境	池や沼、穏やかな流れの周辺。在来のカエル類に比べ水場への依存が強く、成体は1年中池で見られる。	
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。また、卵やオタマジャクシも飼育できません。	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①カエルとしては大型であり、さまざまな動物を捕食する。そのため、特に昆虫類、両生類、甲殻類などの生物群集への影響が大きい。
県内で特に予想される被害	餌となる両生類、昆虫類、甲殻類などの生物群集への影響。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①高い繁殖能力、高い環境適応力。 ②1918年に当時の政府がアメリカから導入。食肉用として全国に養殖を奨励した。太平洋戦争中に閉鎖された養殖場から逃げ出した個体が野生化した。
3 対策	
ウシガエルを見つけたら	未定着の島嶼で見かけたり、声を聞いたりした場合は、県自然保護課か市町村にご連絡下さい。ウシガエルの幼生や卵を見つけた場合は、可能であれば除去して下さい。
見分け方	ウシガエルの体長111～183mm。大型でみずかきが良く発達する。成体は他のカエルと大きさが全く異なるので区別できる。ウシガエルの幼体に似ているトノサマガエルの体長38～94mm。ウシガエルは、幼体も目の後ろの鼓膜が大きくよく目立つ。また、鳴き声は、「ウオー、ウオー」と特徴的であるため、鳴き声でも生息が分かる。
見かけやすい場所・時間	夜行性で、昼間は水草の中や水場周辺の茂みや窪地に隠れる。池や沼、穏やかな流れの周辺に生息。成体は警戒心が強く、見かけることは少ないが、夜間に大きな声で鳴くため生息が分かる。
防除方法	個体を取り除く方法が現実的。成体は警戒心が強く捕獲しにくい、夜間の方が効率よく捕獲できる。幼生や卵の除去も効果的である。幼生越冬し、成体になるまで約1年間を要するため、繁殖期が終わってから翌春までの間に池の干し上げを行えば幼生を全滅できる。
防除の取組事例	小笠原諸島の弟島では、2004年からウシガエルの防除を行い、2008年に根絶したと考えられている。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/40020.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 環境省 小笠原自然情報センター 弟島のトンボを守る取組 http://ogasawara-info.jp/sizenwomamorutorikumi/gutaitekiniha.html 愛媛県 愛媛県外来生物対策マニュアルについて http://www.pref.ehime.jp/h15800/1191961_1934.html 内山ほか(2002)日本の両生爬虫類。平凡社。東京